

平成30年度 地球環境基金

助成活動実施報告書

●サンゴ取得苗の調査(計4回)

日程	2018/4/12.13.14.15 5/29
----	-------------------------

・潜水作業メンバー：砂川 政信氏、砂川 政彦氏、中水 猛博氏 の合計3名

名蔵湾を中心に、取得苗の調査を行う。サンゴ苗のサイズや種類を確認(4月)し、タグ付け(5月)を行う。

石西礁湖でも調査を行ったが、国立公園の制限と範囲が厳しい為、タグ付け、苗の取得は名蔵湾のみとした。



●新規養殖場所の調査(計3回)

日程	2018/5/30.31 6/1
----	------------------

・潜水作業メンバー：砂川 政信氏、砂川 政彦氏、中水 猛博氏 の合計3名

名蔵湾での苗の取得となるため、同じ名蔵湾の中の、養殖特区を確認。八重山漁協よりサンゴ養殖できる場所を選定していただく。水深や、畑を作成可能な、平らな場所を潜水しながら調査した。



●サンゴ苗の確保（試験採捕）（計5回）

日程	2018年 6/14.15.18.19.20
----	------------------------

・潜水作業メンバー：砂川 政信氏、砂川 政彦氏、中水 猛博氏 の合計3名

タガネとハンマーでサンゴ苗を確保

サンゴ苗を水中にてマグホウ付へ取り付け作業

採捕した苗を一度既存の畑に設置作業



●畑の制作と株分け（計5回）

日程	2018/10/20.21.22 11/16.17
----	---------------------------

・潜水作業メンバー：砂川 政信氏、砂川 政彦氏、中水 猛博氏 の合計3名

水深の深い名蔵湾に新たな畑を作成。

既存の畑にも鉄筋棒をうち、新たな畑を作成。

既存畑(A畑)は $2\text{m} \times 33\text{m} = 66\text{m}^2$ 畑を作成、新規畑(B畑)では、 $6\text{m} \times 2\text{m} = 12\text{m}^2$ の畑を2個と $2\text{m} \times 32\text{m} = 64\text{m}^2$ の畑を作成。

合計で 154m^2 の畑が拡大した。その畑に、A畑から既存苗を200本移動。新規苗もA畑に300本、B畑に200本設置した。





● 養殖畑のメンテナンス（計12回）

日程	2018/4/16 6/16 7/15.16 10/23.24 11/18.19 12/17.18 2019/1/16 3/15
----	---

・潜水作業メンバー：砂川 政信氏、砂川 政彦氏、中水 猛博氏 の合計3名
中水氏の都合が合わない時は2名でのメンテナンスの活動の時もあり。

既存畑と、新規畑で活動。養殖のサンゴ苗に、海藻が付着している場合や、ステンレスバンドが緩んでいる場合がある為、1本ずつ苗を確認していく。

毎月のメンテナンス予定だったが、海況やスケジュールの都合により、おおよそ2ヶ月に1回程度の活動となった。

● サンゴ苗作り教室の開催（計3回）

日程	1/20（日）参加者15名（男7名、女6名） 1/27（日）参加者15名（男6名、女9名） 2/3（日）参加者15名（男0名、女15名）
----	--

サンゴについてのお話と、サンゴの苗作りの体験を行なってもらった。体験後に簡単なアンケートを記入してもらった。

【アンケート内容と集計結果】

① サンゴについてもっと知りたいと思ったことはありましたか？自由に記入してください。

生まれ方、育ち方、寿命はあるのか、どれくらい大きくなるのか、色は変色するのかなど沢山の意見を頂きました。

② サンゴの苗作りに参加してみて、今までよりサンゴを大切にしたいと思いましたか？

- 1、大変そう思った(33名)
- 2、ややそう思った(10名)
- 3、あまりそう思わなかった(0名)
- 4、まったくそう思わなかった(0名)

③ 今日のイベントの満足度を点数にして下さい。

70点から150点まで様々。満足度はとても高かったので、継続して行っていきたい。

このアンケート結果より、意識の向上は図れたと感じる。また継続して参加してもらうこと、石垣市内の5年生以上(小・中学生)2,673名の全員に参加してもらうのかは、今後の課題となってくる。

今回のアンケートに記入していただいた、もっと知りたいことも提供できるよう、来年の苗作り教室の課題としたい。

